

食品ロス等削減の取組み

(富山県消費者協会)

「SDGs (持続可能な開発目標)」達成のための重要な取り組みとして

当協会では、年間活動目標の中に、「SDGs」の目標達成に貢献する消費行動として「エシカル消費の推進」を明記し、実践や普及啓発に努めています。「食品ロスの削減」は、「エシカル消費」の中でも、消費者にとって、最も身近で取り組みやすい行動です。

次のような事業を通して、子どもから大人まで、「食品ロスの削減」への理解の促進と実践行動の奨励に努めています。

具体的な取組み

1 アンケート調査 (下欄のポスター参照)

食品ロスに関する消費者の意識や行動を調査し、今後の効果的・具体的な取組みを検討しました。

2 消費者のみなさんへの普及促進

○「富山県くらしのアドバイザー」による啓発

地域の人たちへの、「くらしの相談会」による理解促進に努めています。

2019年度実績：14会場、424名参加

2018年度実績：25会場、800名参加



○「多様な主体による連携強化・発展型の消費者教育強化事業」による啓発



小学校、高校において、ワークショップなどにより理解促進に努めています。

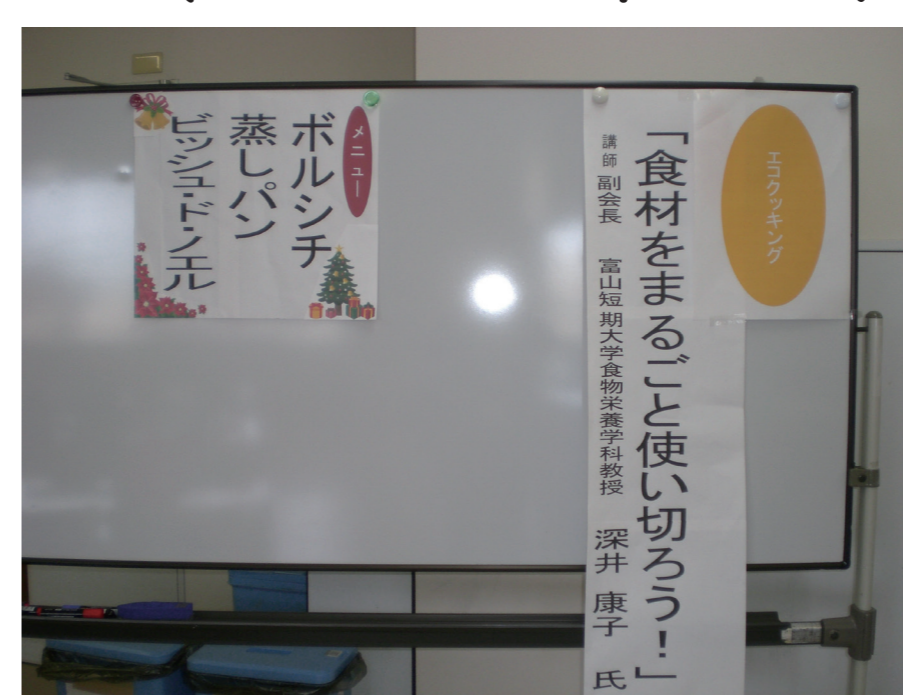
2019年度実績：13会場、466名参加 2018年度実績：11会場、470名参加

○研修会等の開催

・サルベージパーティの開催
(2017年12月14日)



・エコクッキング研修会
(2018年12月25日)



3 事業者のみなさんへの理解促進

○意見交換会の開催



・事業者との意見交換会「食品ロスを減らしましょう！」
(2018年2月21日、2017年2月15日)

・経済同友会、ホテル関係者との意見交換会 (2020年2月25日)

4 その他

・食品ロスモニター参加 2019年7～8月

・フードドライブへの協力 (2020年8月3日～5日)

・とやまメモらナイト (チューリップTV) でPR

～すぐに消費するものは、手前から取りましょうね！～
(2020年11月15日)

